星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2026 No. 79

inaokigakuen news letter

特集

金沢星稜大学サッカー部

ツエーゲン金沢を倒して 6年ぶり3度目の天皇杯出場

星稜アレコレ

星稜 information

バトンメッセージ

総合研究所・SDGs産学地域連携センターだより

ご支援のお願い

星稜サ・エ・ラに関する アンケート実施中！

回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

ツエーゲン金沢を倒して
6年ぶり3度目の天皇杯出場

第55回石川県サッカー選手権大会の決勝が7月29日に金沢市の石川県西部緑地公園陸上競技場で行われ、金沢星稜大学がJリーグ所属（J3）のツエーゲン金沢を1−0で破り、天皇杯JFA第106回全日本サッカー選手権大会出場を決めました。天皇杯の1回戦では、関西学生サッカー選手権を初制覇した京都産業大学の勢いを止められず1−4で敗れたものの、プロチームを倒した確かな技術力の高さとチームの団結力の強さを随所で見せてくれました。

天皇杯JFA第106回全日本サッカー選手権大会1回戦が8月19日、石川県西部緑地公園陸上競技場（金沢市）で行われ、金沢星稜大学はJリーグの内定選手やU21日本代表選手などを擁する関西の大学王者・京都産業大学と対戦しました。

この日は平日にもかかわらず、学生やOB・OG、応援団などを含めて700人以上のサポーターが会場に駆けつけ、金沢星稜大学の選手のプレーを熱い声援で後押ししました。しかし、6月に関西学生サッカー選手権で創部以来、初優勝を果たした京都産業大学の勢いに序盤から押され、前半4分に先制点を奪われると、その後も15分、17分、38分と立て続けに失点し、前半だけで4点を許す厳しい展開となりました。石川県予選の決勝でJ3のツエーゲン金沢を無得点に抑えた自慢の堅守がほころび、相手コートや自軍でも守備のスライドやセカンドボールの回収が思うように機能せず、キャプテンでGKの北野豊己選手も「立ち上がりからプレーの質の差を強く感じた」と振り返ります。

それでもハーフタイム中、メンバー同士で綿密な話し合いを行い、後半で巻き返しを図ります。劣勢の中でも引いて守るのではなく、4年生を中心にリスクを恐れず、あくまでも自分たちのスタイルを貫きます。0−4という重い状況でも粘り強く守り、全員が足を止めず、果敢にペナルティエリアへ攻め込んだ金沢星稜大学イレブン。その意地は後半66分、目に見える形となり、MFの南慶士郎選手が巧みなドリブルでペナルティエリア内に持ち込み、相手に倒されてPKを獲得。プレッシャーのかかる場面でPKを任されたのは、県予選の決勝でツエーゲン金沢から決勝ゴールを決めたFWの宮前享真選手。冷静にゴール左へ決めて、1点を返しました。その後、相手チームのフィールドに攻め込みますが、京都産業大学の堅い守りにチャンスを阻まれ、1−4で初戦敗退となりました。

小松崎保監督は「ツエーゲン金沢との対戦で得た自信。そして京都産業大学との対戦で知った全国レベルの基準。その両方が、金沢星稜大学サッカー部の当たり前の基準を変えてくれた」とこれまでの戦いを振り返り、さらなる高みを見据えた挑戦が続きます。

天皇杯は関西学生王者（京都産業大学）と対戦し初戦敗退

一問一答でわかる！ 金沢星稜大学サッカー部

Q1：部のテーマは？

サッカー部の理念は3つあります。
①社会に認められるチーム・人を目指す
②謙虚・感謝・思返し
③前後際断

Q2：現在のメンバー数は？

41名。部員はひと学年10人前後と多くはありませんが、その分部員同士の仲がいいです。

Q3：どのくらい練習していますか？

週6回（火曜が休みです）。平日は6:00～8:30まで主に星稜高校グラウンドで練習しています。

最新の活動情報はこちら

天皇杯 JFA 第106回全日本サッカー選手権大会

●1回戦（8月19日）
会場：石川県西部緑地公園陸上競技場（金沢市）
金沢星稜大学　1（前半0-4、後半1-0）4　京都産業大学

■出場選手

【先発メンバー】
GK 28 北野 豊己
DF 2 西松 勇里
（58分→DF 24 大木 陽）
DF 5 宮崎 陽
DF 14 藤井 陽生
DF 19 川原 悠太郎
（84分→DF 16 木村 勲平）
MF 13 工藤 英柊
（72分→MF 6 森久 拓海）
MF 25 高杉 龍乃介
（58分→FW 15 新井 康太）
MF 11 南 慶士郎
（84分→FW 21 松本 仁）
MF 8 渡辺 隼大
MF 7 富田 悠乃
FW 10 宮前 享真

【控えメンバー】
GK 1 北川 麗矢
DF 3 谷中 遼生
FW 9 脇 涼音
FW 32 新田 礼人

天皇杯までの勝ち上がり　第55回石川県サッカー選手権大会

●決勝（7月29日）
会場：石川県西部緑地公園陸上競技場（金沢市）
金沢星稜大学　1（前半1-0、後半0-0）0　ツエーゲン金沢

●準決勝（4月26日）
会場：金沢ゴーゴーカレースタジアム（金沢市）
金沢星稜大学　4（前半1-1、後半3-0）1　SRKomatsu

●1回戦（3月29日）
会場：石川県西部緑地公園陸上競技場（金沢市）
金沢星稜大学　0（前半0-0、後半0-0）0 PK3-1　FC北陸

短大 幼 今年も百万石踊り流しに参加しました

「第75回金沢百万石まつり」の一大市民参加イベントである「百万石踊り流し」に今年も「チーム星稜」として大学生、留学生、短大生、園児とその保護者の総勢約150名で参加しました。

今年は浴衣と法被を新調して心機一転で入賞を目指し、練習会を4日間で8回開催しました。残念ながら受賞とはなりませんでしたが、沿道を埋め尽くした市民や観光客に向けて元気いっぱいの笑顔を届けながら踊りを披露しました。

大 新入生歓迎祭を開催しました

4月11日(土)・12日(日)、学友会主催による新入生歓迎祭が開催されました。体育館メインアリーナではソフトバレーボール大会が行われ、ゼミ生同士の親睦を深めました。

学内ではクラブサークル紹介・入部受付ブースが設けられ、一部のクラブを除き48団体が各ブースで勧誘活動を行いました。また軽音楽部はA11教室で新歓ライブを、Highway Star(ダンス)、CRASH(K-POPダンス)は稲置講堂でショーケースを披露し、それぞれ盛り上がりました。

大 国際大会・全国大会出場！

天皇杯JFA第106回全日本サッカー選手権大会
サッカー部

令和8年度全日本学生ソフトテニス選手権大会
嶋垣　由愛（経営学科2年次）・
植野　莉子（スポーツ学科4年次）ペア
巻田　愛（経済学科4年次）・
佐野　愛里紗（スポーツ学科4年次）ペア

第7回シニアトランポリン・アジア選手権大会
澤田　守杏（スポーツ学科3年次）

第61回全日本学生トランポリン競技選手権大会
伊吹　千夢（スポーツ学科4年次）
木村　心春（スポーツ学科4年次）
美田　靖文（スポーツ学科4年次）
今本　修成（スポーツ学科3年次）
澤田　守杏（スポーツ学科3年次）
都竹　奏翔（スポーツ学科3年次）
大藤　彩（スポーツ学科2年次）
番所　駿斗（スポーツ学科2年次）
松岡　龍吾（スポーツ学科2年次）
長谷川　碧人（経営学科1年次）
田山　雄貴（スポーツ学科1年次）

第95回日本学生陸上競技対校選手権大会
佐竹　莉音（スポーツ学科4年次）

短 新入生歓迎祭を開催しました

4月18日(土)、学友会主催の新入生歓迎祭が体育館で開催され、お揃いの星短ポロシャツとクラス別のハチマキを着用した新入生がレクリエーションを通じて交流を深めました。

クラス対抗ドッヂビー大会とじゃんけん列車を実施。ドッヂビー大会ではフリスビーを思い切り投げ合い、コート内を駆け回りながら熱戦を繰り広げました。じゃんけん列車では、クラスの垣根を越えて本気でじゃんけんに挑み、長い列ができていました。レクリエーション後に実施したビンゴ大会も大盛り上がり！ビンゴが出るたびに賑やかな声があふれました。

新入生歓迎祭終了後には食堂で学食体験も行い、笑顔のあふれる一日になりました。

短 「2025年度 Sei-Tan Award」12名が受賞しました！

「ICT活用演習」と「プレゼンテーション」の授業期間中、MOS(Microsoft Office Specialist)の各種資格取得試験において、Excel・PowerPoint・Wordの3科目に合格した学生12名が「2025年度Sei-Tan Award」を受賞しました！

「Sei-Tan Award」は2020年から始まった表彰制度で、各資格検定の取得・合格者に対してその努力を称えるものです。

中 高 遠足に行ってきました

4月30日(木)、中学・高校で遠足を実施しました。

高校では、1年生は福井県で大野城周辺の町並みや恐竜博物館を見学し、2年生は滋賀県長浜市の歴史ある城下町を散策しました。3年生は飛騨高山で高山陣屋や古い町並みを巡り、伝統文化に触れました。

中学では、1年生は河愛の里Kinschuleで薪割りやキーホルダー作り、バーベキューを楽しみました。2年生はいしかわ動物園を見学したあと、加賀フルーツランドでバーベキューを行いました。3年生はゆのくにの森で蒔絵・紙漉き・金箔貼りなどの伝統工芸を体験し、その後、鶴仙渓を散策しました。

それぞれの学年が自然や歴史、文化に親しむとともに、仲間との交流を深め、思い出に残る充実した一日となりました。

高 3年生 体育大会を行いました

7月17日(金)、3年生は体育大会を行いました。サッカー、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなど、多数の競技が行われました。どのクラスも一団となり、暑さに負けない熱い戦いが繰り広げられました。高校生活最後の体育大会は、たくさんの笑顔であふれた素晴らしい大会となりました。この結束力がそれぞれの夢や目標を応援する原動力になると嬉しいです。

高 GROW DORMで避難訓練を実施しました

7月1日(水)、本校の中高総合寮GROW DORMにて、寮生と寮関係者が参加する避難訓練を実施しました。館内放送を合図に、全員が真剣な表情で、迅速かつ安全に避難しました。

集団生活において、災害時の連携と日頃の備えは不可欠です。今回の訓練を通じ、寮生一人ひとりの防災意識がさらに高まりました。今後も安全を第一に考え、安心できる寮生活の環境づくりに努めてまいります。

高 1年生Aコース エンパワーメントプログラムを実施しました

7月27日(月)～31日(金)の日程で、高校1年Aコース対象のエンパワーメントプログラムを実施しました。6名程の少人数グループに海外の大学生や大学院生が入り、終日オールイングリッシュで活動する英語漬けのプログラムです。グループディスカッションだけでなく、テーマに沿ったプロジェクトを自ら企画し、ポスターやプロジェクターも活用して成果をプレゼンします。英語を通じて主体性と発信力を磨く5日間です。

中 GROW! SEIRYO PROGRAMS「GSP」中学生も参加しました！

6月5日(金)、本校の特色ある教育プログラムの一つである「GSP」が、中学生対象に本格的にスタートしました。今回開講された講座では、スポーツ医学、キャリア教育、美術、心理学など、多彩なテーマの中から生徒が興味・関心に応じて選択して受講しました。生徒自身が主体的に活動へ取り組み、さまざまな体験を通して知識や教養を身につけることができました。

中 1年生 金沢城公園・兼六園に行きました！

7月17日(金)、星稜中学校独自のグローバルプログラムのため、中学1年生は金沢の伝統文化を体験し、9月に行われるイングリッシュキャンプの外国人講師の金沢文化財案内準備と、最終日に実施する英語発表の事前学習を行いました。

それぞれのグループに分かれ、自ら計画を立てて案内場所の情報収集を行いました。生徒は良い天候に恵まれ、素晴らしい学習機会になりました。

中高 4月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

令和8年度石川県高等学校ソフトボール春季大会
- 男子の部 ・第1位

令和8年度石川県高等学校ソフトボール春季大会
・第2位

令和8年度石川県高等学校春季弓道大会
- 女子団体 ・第1位

第87回石川県陸上競技選手権大会
- 男子400m ・第1位 金子 斐音
- 男子110mH ・第2位 吉田 虎ノ介
- 男子3000mSC ・第2位 徳山 潤
- 男子走高跳 ・第2位 森田 悠斗
- 男子三段跳 ・第2位 濱野 翔琉
- 男子4×100mR ・第2位 金子 斐音、松田 淳太 大橋 由剛、廣川 祥真
- 男子4×400mR ・第2位 廣川 祥真、中川 悠月 宗藤 煌、金子 斐音
- 女子100m ・第2位 酒井 菜夏
- 女子200m ・第2位 能口 心和
- 女子800m ・第2位 松山 桜彩
- 女子1500m ・第3位 松山 桜彩
- 女子4×100mR ・第1位 谷口 依吹、能口 心和 谷口 聖夏、酒井 菜夏
- 女子4×400mR ・第1位 中村 沙耶、能口 心和 東田 咲来、松山 桜彩

2026全日本ジュニア選手権石川県大会
- U18男子シングルス ・第3位 川西 由人
- U18男子ダブルス ・準優勝 川西 由人（星稜高校） 前中 良介（金沢泉丘高校）
- U16男子ダブルス ・第3位 柴田 零士（星稜高校） 高島 礼雅（金沢高校）
- U18女子シングルス ・準優勝 中森 琶菜
- U18女子ダブルス ・準優勝 中森 琶菜（星稜高校） 丸田 芽生莉（金沢高校）
- U16女子シングルス ・優勝 吉田 奈央
- U16女子ダブルス ・優勝 吉田 奈央（星稜高校） 上野 紗希（金沢高校）

第154回北信越地区高等学校野球石川県大会
・第1位

第50回全国高等学校囲碁選手権大会石川県大会
- 男子団体戦 ・第1位 小早川 拓海、池辺 護 中川 真志
- 男子Aリーグ ・第2位 小早川 拓海

第62回全国高等学校将棋選手権石川県大会
- 男子個人戦 A級 ・第1位 紺藤 志龍
- 男子個人戦 A級 ・第3位 中川 真志

令和8年度石川県高等学校総合体育大会
第79回石川県高等学校陸上競技対校選手権大会
- 男子総合 ・第1位
- 男子トラック ・第1位
- 男子フィールド ・第1位
- 男子100m ・第2位 松田 涼太
- 男子200m ・第2位 松田 涼太
- 男子400m ・第1位 金子 斐音
- 男子800m ・第2位 苅安 渉
- 男子3000mSC ・第1位 徳山 潤
- 男子5000mW ・第2位 北川 琉空
- 男子110mH ・第3位 吉田 虎ノ介
- 男子走高跳 ・第2位 森田 悠斗
- 男子走幅跳 ・第2位 両角 公位
- 男子走幅跳 ・第3位 桑名 希一
- 男子三段跳 ・第2位 濱野 翔琉
- 男子砲丸投 ・第1位 門田 育知（県高校記録・大会新記録）
- 男子砲丸投 ・第3位 山内 優助
- 男子円盤投 ・第1位 門田 育知
- 男子円盤投 ・第2位 山内 優助
- 男子八種競技 ・第1位 廣川 祥真
- 男子八種競技 ・第2位 堺井 蒼士
- 男子八種競技 ・第3位 宗藤 煌
- 男子4×100mR ・第1位 金子 斐音、松田 涼太 菊田 楓、廣川 祥真
- 男子4×400mR ・第2位 廣川 祥真、中川 悠月 宗藤 煌、金子 斐音
- 女子総合 ・第1位
- 女子トラック ・第1位
- 女子フィールド ・第1位
- 女子100m ・第2位 能口 心和
- 女子100m ・第3位 酒井 菜夏
- 女子200m ・第2位 能口 心和
- 女子400m ・第2位 松山 桜彩
- 女子800m ・第1位 松山 桜彩
- 女子800m ・第2位 中村 沙那
- 女子1500m ・第3位 中村 沙耶
- 女子走幅跳 ・第1位 錦戸 心環
- 女子走幅跳 ・第2位 藤本 茉優
- 女子砲丸投 ・第2位 湯浅 華子
- 女子円盤投 ・第1位 湯浅 華子
- 女子七種競技 ・第1位 小町 一嘉
- 女子七種競技 ・第2位 谷口 依吹
- 女子七種競技 ・第3位 鬼頭 明沙
- 女子4×100mR ・第1位 谷口 依吹、能口 心和 谷口 聖夏、酒井 菜夏
- 女子4×400mR ・第1位 中村 沙那、松山 桜彩 酒井 菜夏、能口 心和

令和8年度石川県高等学校総合体育大会バドミントン競技
- 女子学校対抗 ・第3位

第46回石川県高等学校総合文化祭邦楽合同発表会
・優秀賞

令和8年度石川県高等学校総合体育大会テニス競技
- 女子団体 ・第2位 吉田 奈央、中森 琶菜 前田 柚菜、石垣 凛楓 寺田 帆風
- 女子シングルス ・第1位 吉田 奈央
- 女子ダブルス ・第3位 中森 琶菜、吉田 奈央

令和8年度石川県高等学校総合体育大会空手道競技
- 男子団体形 ・第2位
- 男子団体組手 ・第3位
- 男子総合 ・第3位
- 女子団体形 ・第3位

第46回石川県高等学校総合文化祭イングリッシュフェスティバル
- ステージパフォーマンスの部・優秀賞

令和8年度石川県高等学校総合体育大会レスリング競技
- 80kg級 ・第1位 亀田 蓮介
- 65kg級 ・第3位 内田 讃

令和8年度石川県高等学校総合体育大会トランポリン競技
- Aクラス個人男子 ・第1位 神山 空駕
- Aクラス個人男子 ・第2位 中井 大翔
- 男子団体 ・第1位
- 男子総合 ・第1位
- Aクラス個人女子 ・第1位 塚本 莉子
- 女子団体 ・第2位
- 女子総合 ・第2位

令和8年度石川県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
- 男子の部 ・第1位

令和8年度石川県高等学校総合体育大会弓道競技
- 個人女子の部 ・第1位 徳田 優衣
- 個人女子の部 ・第2位 西田 朱里
- 個人女子の部 ・第6位 西野 綺涼

令和8年度石川県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
- 女子の部 ・第3位

令和8年度石川県高等学校総合体育大会バレーボール競技
- 男子 ・第3位

令和8年度石川県高等学校総合体育大会サッカー競技
- 男子の部 ・第3位

第154回北信越地区高等学校野球大会
・第3位

令和8年度石川県高等学校総合体育大会水泳
- 女子200m背泳ぎ ・第2位 近江 心愛
- 総合女子の部 ・第3位
- 競泳女子の部 ・第3位

第65回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
- 男子総合 ・第1位
- 男子トラック ・第2位
- 男子フィールド ・第1位
- 男子800m ・第2位 苅安 渉
- 男子3000mSC ・第6位 徳山 潤
- 男子5000mW ・第5位 北川 琉空
- 男子110mハードル ・第5位 吉田 虎ノ介
- 男子走幅跳 ・第3位 大橋 由剛
- 男子走幅跳 ・第5位 桑名 希一
- 男子三段跳 ・第2位 濱野 翔琉
- 男子砲丸投 ・第1位 門田 育知
- 男子砲丸投 ・第8位 山内 優助
- 男子円盤投 ・第5位 門田 育知
- 男子円盤投 ・第6位 山内 優助
- 男子八種競技 ・第3位 廣川 祥真
- 男子八種競技 ・第4位 宗藤 煌
- 男子4×100mR ・第1位 金子 斐音、松田 涼太 菊池 楓、清水 空跳
- 男子4×400mR ・第1位 小菱 桜雅、中川 悠月 清水 空跳、金子 斐音
- 女子トラック ・第3位
- 女子100m ・第3位 能口 心和
- 女子100m ・第7位 酒井 菜夏

●女子800m　・第3位　中村　沙耶
●女子800m　・第4位　松山　桜彩
●女子走幅跳　・第4位　藤本　茉優
●女子七種競技　・第7位　小町　一嘉
●女子4×100mR　・第2位　谷口　依吹、能口　心和
谷口　聖夏、酒井　菜夏
●女子4×400mR　・第3位　中村　沙耶、松山　桜彩
酒井　菜夏、能口　心和

令和8年度北信越高等学校女子ソフトボール選手権大会
・出場

令和8年度北信越高等学校体育大会 第36回ソフトボール選手権大会
・第3位

WRO Japan2026公認石川予選会
●エキスパート競技 シニア部門　吉田旭輝、土原匠眞

第80回国民スポーツ大会 陸上競技石川県予選会
●男子少年A100m　・10秒90 松田　涼太
●男子少年B100m　・11秒24 両角　公位
●男子少年B100m　・11秒39 奥野　沢
●男子少年A300m　・34秒17 清水　空跳
●男子少年A300m　・34秒85 松田　涼太
●男子少年共通800m　・1分52秒67　苅安　渉
●男子少年B3000m　・9分06秒28　麻野　慎太郎
●男子少年A5000m　・15分35秒79 徳山　潤
●男子少年共有110H　・14秒67 吉田　虎ノ介
●男子少年B走幅跳　・7m08　両角　公位
●男子少年A三段跳　・14m96 濱野　翔琉
●男子少年A三段跳　・13m48 吉森　匠柾
●男子少年B砲丸投　・15m36 山内　優助
●男子少年A円盤投　・42m36 門田　育知
●男子少年共通5000mW ・24分06秒15 北川　琉空
●女子少年A100m　・11秒90 能口　心和
●女子少年B100m　・12秒03 酒井　菜夏
●女子少年B100m　・12秒28 谷口　聖夏
●女子少年B100m　・12秒62 棚田　芽花
●女子少年A300m　・38秒75 能口　心和
●女子少年A800m　・2分13秒48　松山　桜彩
●女子少年A800m　・2分14秒59　中村　沙耶
●女子少年A3000m　・10分27秒35 久田　心希
●女子少年A3000m　・10分37秒95 福井　妃紗奈
●女子少年共通100H　・15秒01 小町　一嘉
●女子少年B走幅跳　・5m35　錦戸　心環
●女子少年B走幅跳　・5m28　山村　唯涼
●女子少年A三段跳　・11m76 藤本　茉優

第74回石川県吹奏楽コンクール
・銀賞

小倉百人一首競技かるた第48回全国高等学校選手権大会
●B級　野澤　咲亜

第50回全国高等学校総合文化祭 演劇部門
●第72回全国高等学校演劇大会生徒講評委員　安西　蒼司

第51回全国高等学校トランポリン競技選手権大会
●シンクロナイズド競技男子　神山　空駕、大西　良玖
●団体競技男子　内潟　千暉、中井　大翔
大西　良玖、神山　空駕
●個人競技男子　神山　空駕
●個人競技男子　大西　良玖
●男子最高跳躍点賞　神山　空駕
●男子最高演技点賞　中井　大翔
●団体競技女子　大熊　七翠、天内　李音
塚本　莉子
●個人競技女子　塚本　莉子
●個人競技女子　大熊　七翠

令和8年度全国高等学校総合体育大会
●男子三段跳　・15m13 濱野　翔琉
●男子砲丸投　・15m83 門田　育知

第46回石川県高等学校総合文化祭
第78回石川県高等学校演劇合同発表会
・最優秀賞　Our history is…
・観客動員奨励賞

令和8年度北信越高等学校体育大会テニス競技
●男子団体　・ベスト16 西野　慶、川西　由人
堀内　聡介、柴田　零士
金尾　正蔵
●女子団体　・ベスト8 前田　柚菜、寺田　帆風
中森　琶菜、石垣　凛楓
吉田　奈央
●女子個人シングルス　・出場　吉田　奈央

令和8年度JOCジュニアオリンピックカップ石川県（テニス）
●男子団体　・第1位　川西　由人

令和8年度全国高等学校総合体育大会テニス競技
●女子シングルス　・個人出場 吉田　奈央

【星稜中学校】

第23回県ジュニアゴルフ選手権
●男子12歳～14歳の部　・第2位　北村　真寛

金沢市中学校 春季競技大会剣道競技
●男子個人2年の部　・第2位　矢澤　志堂
●男子団体　・第3位

第79回金沢市中学校陸上競技大会
●男子共通1500m　・第8位　宗藤　舜
●男子共通3000m　・第7位　宗藤　舜

第23回かほく市総合スポーツ大会陸上競技
●中学男子走幅跳　・第1位　宗藤　舜
●中学男子1500m　・第1位　宗藤　舜

第69回金沢市民スポーツ大会陸上競技
●中学男子3年1500m　・第1位　宗藤　舜
●中学女子3年800m　・第2位　春山　燎里

金沢市中学校 春季競技大会軟式野球競技
・第1位

第43回全日本少年軟式野球大会石川県大会
・第1位

NIIGATA CHAMPIONS LEAGUE 2026
・第3位

第43回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント北信越ブロック予選会
・第1位

石川県中学校体育大会 第78回陸上競技大会
●男子共通3000m　・第5位　宗藤　舜
●男子共通1500m　・第8位　宗藤　舜

第64回石川県中学校サッカー大会
・第1位

WRO Japan2026公認石川予選会
●エキスパート競技ジュニア部門・第1位　多賀　結人

第12回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会
●個人競技中学生男子　・第3位　室野　尊
●最高跳躍時間点賞　・最高跳躍時間点賞　北本　結

第47回北信越中学校総合競技大会サッカー競技
・第3位

第43回全日本少年軟式野球大会ENEOSトーナメント
・優勝

令和8年度加賀地区中学校体育大会兼県体予選会剣道競技
●男子個人の部　・第5位　矢澤　志堂

園児こども園

☆毎日がわくわく！楽しいこといっぱい☆

「ばあ！」「きゃははは」かわいらしい声があちらこちらで聞こえます。ゆったりとした環境の中、ここで過ごす子どもたちが自分らしさを発揮しながら、日々成長しています。2歳児は歩いて園庭に出かけ泥水遊びも体験しました。冷たさ、柔らかさ、においなどを感じ五感を刺激する経験になりました。今後も幼稚園との交流を深め集団で過ごす楽しさも味わってほしいと思っています。誕生日には保護者の方をお招きし一緒にお祝いしています。小さな主役をみんなで心を込めてお祝いする様子はとても幸せな時間です。大きくなるってうれしいですね。

星稜幼稚園

☆アートギャラリー☆

幼稚園ランチルームに「アートギャラリー」を開設しました。定期的に作品の入れ替えをし芸術家による本物の芸術作品を園児や保護者に楽しんでいただいています。初回は油絵画家の秋山雅貴氏の作品を展示しています。「独創的で迫力と描写力の伴った」油絵や現代アート作品は見る人の心を揺さぶります。子どもたちも日頃から絵画活動を行っていることもあり、興味深くアッキー先生の作品に見入っています。どなたでもご覧いただけますのでよろしければ「星稜幼稚園アートギャラリー」にぜひお越しください。

☆夏祭り☆

御所町会様よりお誘いいただき、年長児が星稜大学中庭で行われた夏祭りのステージに出演しました。課外ダンス、盆踊り、ミニパラバルーンそれぞれが元気いっぱいに演じ、保護者や会場の方からの拍手につつまれました。幼稚園会場でも運動遊びブースとわなげ、そうめんとフルーツゼリーなどの飲食のコーナーでお祭り気分を味わいました。

☆サマープログラム☆

8月1日～31日の期間で昨年から実施しているサマープログラム、今年の対象は小学1・2年生でした。毎日の日課、宿題や読書など学習のほか、プールや運動遊び、ハッピーコンサートなど期間中様々な活動をしました。朝の会、終わりの会では意見を交換し合ったり、進んで手伝いをする姿など卒園児たちの目覚ましい成長はうれしい限りです。次年度は小学1年生、2年生、3年生を対象に継続予定です。

☆アート活動☆

工作や絵画鑑賞、そしてどんどん描いてみよう！と絵画制作に取り組んでいます。金沢アートグミの講師が画材を紹介し使い方を教えてくれます。

クレヨンで描く、絵の具で色を塗る、自由に色を作ってみる、そんなワクワクした時間を毎回楽しみにしている子どもたちです。0、1、2歳児も絵の具に触れて感触を味わい、描いた色や形を楽しんでいます。

☆北國銀行 ハッピーコンサート☆

北國銀行がオーケストラ・アンサンブル金沢と協力し、幼稚園や保育園などを訪問する社会貢献・子育て支援事業に本園が応募したところ見事当選し、この度、サマープログラムの小学生と年長児、そして保護者を対象に訪問コンサートが開催されました。

オーケストラ・アンサンブル金沢の弦楽器奏者の方々と、ソプラノ歌手である金沢星稜大学人間科学部教授の直江学美先生にお越しいただき、プロの演奏と歌に触れる楽しいひと時を過ごしました。体でリズムをとったり、手拍子をしたり、最後は全員で「にじ」を歌いました。アンコールでは移動しながらの演奏で会場を楽しませてくれ、目の前で見る楽器演奏に大喜びの子どもたちでした。

☆どきどき！わくわく！親子遠足☆

2歳児クラスから年長児クラスまで全ての学年が親子遠足へ出かけました。大好きな保護者の方、そしてお友達と一緒に行く遠足。自然や乗り物、動物など様々なものに触れ、たくさん体を動かしてめいっぱい楽しみました。みんなで食べるお弁当は格別においしかったのではないでしょうか！遠足の翌日になっても「楽しかったね！」「ここにいったんだよ！」と目をキラキラと輝かせてお土産話をしてくれる子どもたちでした。

☆運動あそびにチャレンジ！☆

年少・年中・年長児が金沢星稜大学の井川貴裕スポーツ学科講師による体力測定に参加しました。10メートル走、方向転換走、4センサーアジリティ、垂直跳びの4種目を測定。年中・年長児は昨年度も経験しており、タイムが伸びているか楽しみにしていました。一方今年が初めての年少児。「どんなことをするのかな？」とわくわくどきどきの表情を浮かべて挑戦していました。「○○ちゃん頑張れ～！」とみんなで応援し合い、昨年度よりもパワーアップしていた子どもたちでした。

また、2歳児から年長児が長いトンネルをくぐったり、ミニハードルを飛び越えたりして運動遊びもダイナミックに楽しんでいました。

☆おかえりなさい！☆

6月から月に2回、卒園児の1・2年生を対象とした施設開放を行っています。すっかりお兄さんお姉さんの表情になり成長を感じました。

久しぶりの幼稚園に「机ちっちゃいね！」「こんなんやったっけ？」と学校とは違う園の雰囲気を楽しんでいました。参加した卒園児は、懐かしさを感じつつ、ちょっぴり緊張ぎみな様子でしたが、仲良しのお友達や懐かしい先生に会うとぱっ！と表情が明るくなり、会話も盛り上がりました。

おやつを食べた後は、自分たちがいた場所を確かめるように探索し、いつも以上ににぎやかな雰囲気に包まれました。

☆大きくなあれ！☆

畑に植える種や苗をどれにしようか選び、年長児は『かぼちゃ』『ひまわり』『ふうせんかずら』『あさがお』、年中児は『にんじん』『トマト』『バジル』、年少児は『さつまいも』『ひまわり』を植えました。園庭へ出ると「お水あげてくる！」とじょうろを持って駆けていく子どもたち。「ここまだ足りてないよ」「ここにもかけよう！」と愛情たっぷり熱心にお世話をしてくれています。ぴょこん！と芽が出た時には「みて～！」と目を輝かせて喜んでいました。野菜たちも少しずつ大きくなり、収穫した野菜でクッキングも楽しんでいます。

いっぱいの愛情とたくさんの光を浴びてもっともっと大きくなあれ！

☆泉野のアーティストたち☆

昨年度から場所を移し、さらにバージョンアップした「いずみのアート工房」。

子どもたちは製作が大好きで「どれにしようかな」「こんな箱見つけた！」「これ○○に使えそう！」と目をキラキラと輝かせながら材料選びをしています。材料からインスピレーションを受けて作るものを決めたり、自分のイメージに合う材料を探したり、創作方法は様々。それぞれ自分のイメージをのびのびと表現しています。「これどこにあったん？」「それもいいね！」とお友達の作品にも興味津々！毎日、小さなアーティストたちは創造の世界を広げて夢中になって遊んでいます。

☆冷たくて気持ちいい～！☆

日差しの強い日が多くなり、水遊びが大盛り上がり！たらいに水をはってミニお風呂のようにしたり、金魚すくいをしてみたり…。「つめたいねぇ」「いっぱい金魚とれたよ！」と冷たい水の感触を楽しんでいます。また、年長児がガチャポンプの使い方を教えてくれることも。学年を越えた交流が深まり、優しさの輪が広がっています。

2025年度　財務の概要

【学校法人・学校法人会計とは】

学校法人とは、学校教育法・私立学校法の定めるところにより、私立学校の設置を目的として設立された法人です。一般に企業は利益を追求することを目的としますが、学校法人は独自の理念に基づいて教育・研究活動を行い、その成果を社会に還元することを目的としています。したがって、学校法人はきわめて公共性の高い経営主体であるといえます。それゆえ、学校法人は安定性・継続性（永続性）をもって教育・研究活動を行うことが求められます。例えば、施設設備などの必要不可欠な資産の維持・充実は、自己資金によって行わなければなりません。一方で、学校法人は、私立学校振興助成法の定めるところにより、国または地方公共団体から教育の振興上必要な助成を受けることができます。こうした特性を踏まえ、学校法人が適正な会計処理を行うための基準として制定されたのが「学校法人会計基準」です。助成を受ける学校法人は、この基準に則って会計処理を行い、会計年度ごとに財務計算に関する書類を作成し、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。また、このほかに収支予算書、公認会計士または監査法人の監査報告書を届け出なければなりません。学校法人会計基準は時代の要請に応じて見直しが行われており、2025年4月1日からは改正会計基準が施行されています。今回の改正では、財務状況のより一層の分かりやすさや比較可能性の向上、ステークホルダーへの説明責任の強化などが図られています。このように、学校法人会計は学校経営の健全性を測定し財政基盤の安定に資するとともに、公教育を担う学校法人の経営状態を社会に広く明らかにするという重要な役割を担っています。本学園では、改正会計基準に適切に対応しながら、今後も健全で透明性の高い運営に努めてまいります。そして、教育・研究活動のさらなる充実を図るとともに、社会からの信頼の維持・向上に取り組んでまいります。

【貸借対照表】

企業会計の「貸借対照表」に相当します。学校法人の財政状態の健全性を把握することができます。

（単位：千円）

科　目		2025年度末
資産の部	固定資産	23,207,224
	有形固定資産	16,929,053
	特定資産	5,936,228
	その他の固定資産	341,943
	流動資産	4,474,262
	資産の部合計	**27,681,486**
負債の部	固定負債	1,598,505
	流動負債	1,000,172
	負債の部合計	**2,598,676**

科　目		2025年度末
純資産の部	基本金	28,531,717
	第1号基本金	28,081,717
	第2号基本金	0
	第3号基本金	―
	第4号基本金	450,000
	繰越収支差額	△ 3,448,907
	純資産の部合計	**25,082,810**
負債及び純資産の部合計		**27,681,486**

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

総資産額は27,681百万円で、前年度に比べ339百万円増加しました。これは、減価償却により建物等が減少した一方で、新たな機器備品等の取得により固定資産が増加したことや大学新キャンパス用地造成により土地が増加したこと、特定資産が増加したことなどによるものです。総負債額は2,599百万円で、前年度に比べ143百万円増加しました。主な要因として、借入金を返済した一方で新たに賞与引当金を計上したことが挙げられます。

【事業活動収支】

企業会計の「損益計算書」に相当します。学校法人の事業活動ごとの収入・支出の内容とその均衡状態を把握することができます。

（単位：千円）

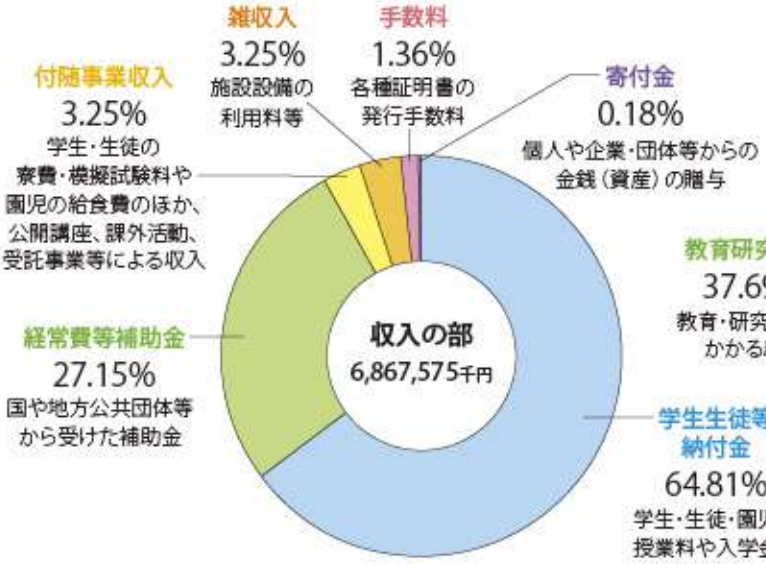
科　目			2025年度
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	4,450,840
		手数料	93,586
		寄付金	12,431
		経常費等補助金	1,864,415
		付随事業収入	223,178
		雑収入	223,125
		収入の部計	**6,867,575**
	支出の部	人件費	3,359,275
		教育研究経費	2,443,074
		管理経費	680,298
		徴収不能額等	687
		支出の部計	**6,483,334**
	収支差額		**384,242**
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	53,106
		その他の教育活動外収入	0
		収入の部計	**53,106**
	支出の部	借入金等利息	4,530
		その他の教育活動外支出	0
		支出の部計	**4,530**
	収支差額		**48,575**
経常収支差額			**432,817**

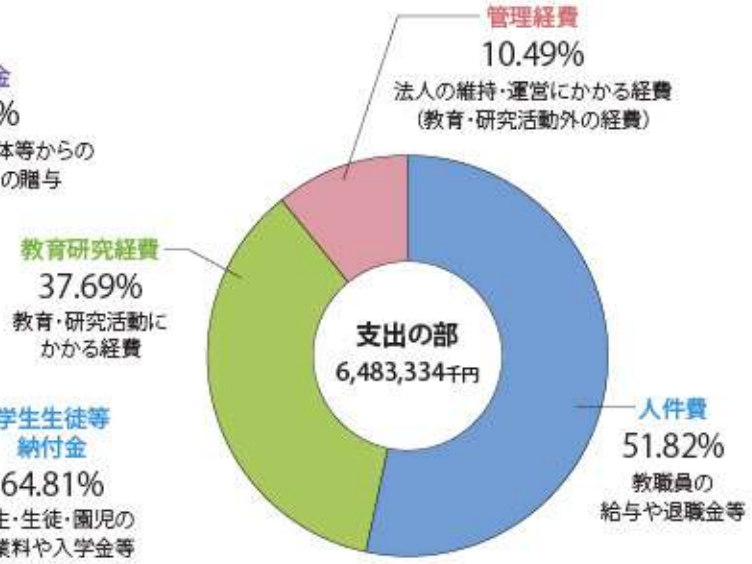
※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

科　目			2025年度
特別収支	収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	7,225
		収入の部計	**7,225**
	支出の部	資産処分差額	44,335
		その他の特別支出	199,983
		支出の部計	**244,317**
	収支差額		**△ 237,093**
基本金組入前当年度収支差額			195,724
基本金組入額			△ 363,242
当年度収支差額			△ 167,517
前年度繰越収支差額			△ 4,071,390
基本金取崩額			790,000
翌年度繰越収支差額			△ 3,448,907
事業活動収入計			**6,927,905**
事業活動支出計			**6,732,181**

事業活動収入は6,928百万円となり、前年度に比べ365百万円増加しました。これは学生生徒等納付金、経常費補助金、受取利息・配当金が増加したことなどによるものです。一方、事業活動支出は6,732百万円となり、前年度に比べ531百万円増加しました。主な要因として、国の高等教育の修学支援新制度により教育研究経費（奨学費）が増加したことに加え、当年度限りの対応としてその他の特別支出に賞与引当特別繰入額を計上したことが挙げられます。この結果、基本金組入後の当年度収支差額は△168百万円となりましたが、これは将来の施設設備や教育環境の充実に備えた資金の確保（基本金組入）を反映したものです。

◆事業活動収支における教育活動収支グラフ





【資金収支計算書】

企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当します。学校法人のキャッシュ・フローの状況を把握することができます。

（単位：千円）

	科　目	2025年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,450,840
	手数料収入	93,586
	寄付金収入	11,156
	補助金収入	1,868,259
	資産売却収入	10,000
	付随事業・収益事業収入	223,178
	受取利息・配当金収入	54,663
	雑収入	223,322
	借入金収入	0
	前受金収入	368,010
	その他の収入	4,909,030
	資金収入調整勘定	△ 496,922
	前年度繰越支払資金	3,731,695
	収入の部合計	**15,446,818**

	科　目	2025年度
支出の部	人件費支出	3,323,347
	教育研究経費支出	2,009,231
	管理経費支出	601,473
	借入金等利息支出	4,530
	借入金等返済支出	105,550
	施設関係支出	170,582
	設備関係支出	244,678
	資産運用支出	4,785,613
	その他の支出	406,681
	資金支出調整勘定	△ 398,455
	翌年度繰越支払資金	4,193,587
	支出の部合計	**15,446,818**

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

【貸借対照表関係比率】

（単位：%）

比　率	算　式	2024年度	2025年度	増　減
純資産構成比率	純資産 ÷ 総資産	91.0	90.6	△ 0.4
総負債比率	総負債 ÷ 総資産	9.0	9.4	0.4

※総資産＝負債の部合計+純資産の部合計

【事業活動収支計算書関係比率】

（単位：%）

比　率	算　式	2024年度	2025年度	増　減
人件費比率	人件費 ÷ 経常収入	51.6	48.5	△ 3.1
教育研究経費比率	教育研究経費 ÷ 経常収入	32.1	35.3	3.2
管理経費比率	管理経費 ÷ 経常収入	9.9	9.8	△ 0.1
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ÷ 経常収入	66.1	64.3	△ 1.8
経常寄付金比率	教育活動収支における寄付金 ÷ 経常収入	0.3	0.2	△ 0.1
経常補助金比率	経常費等補助金 ÷ 経常収入	24.2	26.9	2.7
経常収支差額比率	経常収支差額 ÷ 経常収入	6.3	6.3	0.0
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 ÷ 教育活動収入計	5.8	5.6	△ 0.2

※経常収入＝教育活動収入計+教育活動外収入計

◆財務の概要の詳細は稲置学園WEBサイトをご覧ください。

子どもに そっと寄り添い さり気なく背中を 押してあげられるように

星稜幼稚園
保育教諭 井納 真由

母の背中を追って 保育士の道へ

早いもので保育教諭として星稜幼稚園で働き始めて5年目を迎えています。

実は母が保育士をしていて、小学6年生の夏休みに母の勤める保育園で工作のイベントに参加し、園児と接する母の姿を見て「かっこいい」と思ったのが、保育士に憧れたきっかけです。その後、星稜高校、金沢星稜大学人間科学部こども学科と進み、大学4年時に星稜幼稚園で実習をさせていただき、子どもの主体性を大事にした活気ある園の雰囲気や先生同士が声かけを大切にしているところなどに惹かれ、私の第一志望の幼稚園となりました。

念願かない星稜幼稚園の保育教諭となり、最初の1年は0～1歳児をベテランの先生と一緒に担当することに。まだ言葉を話せない子どもが相手なので、いろいろと不安もありましたが、全神経を集中させて子どもの気持ちをくみ取るよう心がけ、気になることがあればすぐにベテランの先生に相談できたので、安心して子どもを見守ることができました。おかげでちょっとした子どもの変化や成長にも気づき、お迎えに来られた保護者に一日の様子を報告するとすごく喜ばれ、それから「先生、これ見てください」とお子さんの誕生会やお出かけした写真を見せてもらえるようになり、保護者との距離がぐっと縮まりました。まるで家族の一員のように子どもの成長を一緒に感じることができ、この仕事のやりがいをあらためて実感しました。

教諭同士が頻繁にコミュニケーションを取り、園児の主体性を大切にした教育に取り組んでいます。

子どもたちが 考えた作戦で勝利

2年目からは4～5歳児の担当になり、一人でクラス担任を経験することに。はじめは遊びの広げ方や子どもへの声かけの仕方、タイミングが難しく、正直戸惑うこともありました。それでもリーダーの先生がこまめにアドバイスをしてくれ、子どもたちと接する中で、大人が答えを与えるのではなく、時には失敗することも大事だと気づき、「自分は子どもにそっと寄り添い、さり気なく背中を押してあげる存在になれればいい」と思うようになりました。

運動会のクラス対抗リレーの練習で、忘れられない出来事があります。負けないために「作戦会議をしよう」と集まり、どうやったら速く走れるか、みんなでアイデアを出し合っていました。「腕を大きく振った方がいいよ」「まっすぐ走ろう」といった意見が次々出てきて、最後はみんなで「絶対勝つぞエイエイオー！」の掛け声で勝利を誓っていました。すると、次の対抗リレーの練習では見事に勝つことができ、みんなで大喜びしました。その瞬間に子どもたちの力に感心させられ、成長が嬉しく、とても幸せな気持ちになりました。

小学生からバスケットボールをずっとやっていて、今は週1回ほどの参加になっていますが、社会人チームに所属しています。体を動かすことが好きなので、今後、子どもの遊びの幅を広げたり、子どもの成長に合わせた運動の提案をしたりできるようスポーツアドバイザーの資格にも挑戦できたらと思っています。

現在、5歳児24名のクラス担任をしています。
子どもの発想や話す言葉など毎日の成長に驚きの連続です。

総合研究所 SDGs産学地域連携センターだより

総合研究所

科学研究費助成事業（科研費）による研究活動を行っている先生方をご紹介します。

科学研究費助成事業（科研費）は、日本の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まですべての分野で、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする研究助成費です。基礎の研究から最先端の研究まで、多様なメニューで研究者を援助しており、文部科学省から交付されるものと独立行政法人日本学術振興会から交付されるものがあります。

今年度新規で採択された先生方とその研究課題名をご紹介します。

石野 卓也 教授（経済学部 経済学科）
■研究種目：挑戦的研究（萌芽）
■研究課題名：地縁・文化と経済的選好の世代間連鎖
―資産形成・移住政策への実証的基盤―

安 哉宣 准教授（経済学部 地域システム学科）
■研究種目：基盤研究（C）
■研究課題名：インバウンド観光における文化的マイノリティ旅行者の包摂に関する日韓比較研究

井川 貴裕 講師（人間科学部 スポーツ学科）
■研究種目：基盤研究（C）
■研究課題名：幼児期における反応敏捷性の測定方法の確立と発達要因の解明

門岡 晋 講師（人間科学部 スポーツ学科）
■研究種目：基盤研究（C）
■研究課題名：起床時コルチゾール/DHEA反応を指標にしたアスリートバーンアウトの縦断的研究

寺嶋 雅彦 准教授（教養教育部）
■研究種目：研究成果公開促進費（学術図書）
■研究課題名：予定調和の哲学
―G.W.ライプニッツにおける世界像の構築と彫琢―

山本 輝太郎 准教授（教養教育部）
■研究種目：若手研究
■研究課題名：論理的誤謬に着目したプレバンキング手法の構築に関する研究

SDGs産学
地域連携センター

2026年度「地域連携による地域貢献活動」推進事業と星稜ジャンプ地域活動プロジェクトの紹介

「地域連携による地域貢献活動」推進事業

地域フィールドを舞台とした教育研究活動を通して、課題解決能力と地域の活力となる新たな知を生み出す力を持った人材を育成することを目的に、地域の課題やニーズを確認しつつ、関係団体と連携して地域の活性化に寄与する活動を推進する事業です。

- 志賀町小学生英語教育実践プロジェクト＋
  代表者　前田 昌寛 教授（人文学部）／前田ゼミナール
- 地域資源をWEBに残すウィキペディアタウンプロジェクト
  代表者　佐藤 将 准教授（経済学部）／佐藤将ゼミナール
- 能美市鍋谷町地区における地下水水質異常の実態調査支援活動
  代表者　呉 星辰 准教授（経済学部）／呉ゼミナール
- ドローンカメラを活用した体育授業の省察と授業改善を考える
  代表者　丸井 一誠 准教授（人間科学部）／丸井ゼミナール
- 能登復興を支える「スズフェス2026」の運営支援と地域経済波及効果の可視化
  代表者　張 森 教授（経済学部）／張ゼミナール
- 津幡町河合谷地域活性化プロジェクト ～河合谷オータムフェスティバル 2026 in キンシューレ～
  代表者　西村 貴之 教授（人間科学部）／西村ゼミナール
- Future Challenge Project 2026
  代表者　西村 貴之 教授（人間科学部）／西村ゼミナール
- まっとうまちなか商店街活性化プロジェクト
  代表者　辰巳 佳彦 助教（女子短期大学部）／辰巳ゼミナール
- 令和6年能登半島地震と復興：仏教寺院関係者の証言収集事業
  代表者　バイヤー アヒム 教授（人文学部）／バイヤーゼミナール

星稜ジャンプ地域活動プロジェクト

「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」（通称ちいプロ）とは、本学の教育研究の推進並びに地域の活性化を図ることを目的に、「地域に向き合い、地域に学ぶ」ことを通して地域課題解決と社会貢献に励む学生の自主的な団体に対し助成する制度です。

- 金澤おてら文庫
- バーチャルワールド探検隊
- グローバルプロジェクトつなげ隊
- こどもとSDGs
- サステナ農園
- FTGs（Fair Trade as a Global Commons）
- スポ魂
- 地域づくり寸劇プロジェクト
- SMC（SEIRYO Movie Creators）
- ITCSP（ISHIKAWA Traditional Crafts Spread Project）

※各活動については大学・短期大学部ホームページにて随時発信を行いますので、是非ご覧ください。

総合研究所

SDGs産学
地域連携センター

星稜サ・エ・ラ No.79 2026年9月29日発行 編集・発行／学校法人 稲置学園 石川県金沢市御所町丑10番地1 TEL076-253-3915 https://www.seiryo.jp/

みなさまからのご寄付で、学生・生徒・園児にエールを

平素より、多大なるご支援・ご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、「令和6年能登半島地震」に際して、心あたたまるご支援を頂戴いたしましたこと、心より感謝いたします。

本学園は創立100周年に向けて、園児・生徒・学生に対して可能性に満ちた未来を創造するため、段階的かつ持続的な教育を目指した教育改革を推進しております。

皆様におかれましては、質の高い教育を実現し、子どもたちが個性豊かに、そして健やかに学べる教育環境を整備するため、引き続きご支援をいただけますように心よりお願い申し上げます。

ご寄付は、以下のような目的で活用させていただきます

○学生・生徒への奨学金
○教育・研究活動への支援
○課外活動への支援
○国際交流への支援
○修学・保育環境及び教育・研究等設備の整備への支援

寄付金額：一口 5,000円
※一口未満の寄付についてもありがたくお受けいたします

インターネットからのご寄付

クレジットカード決済可能な
インターネットからのご寄付はこちら

詳しくは、学園HPをご確認ください。

税制上の優遇措置

寄付金に応じた所得税等の還付を受けられます。

1万円寄付した場合の減免税の目安

減税額 3,200円！

Since 1932 星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成
学校法人 稲置学園

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
https://www.seiryo.jp/magazine/

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL076-253-3924（代表）
（大　学）https://www.seiryo-u.ac.jp/u/
（短大部）https://www.seiryo-u.ac.jp/c/

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小坂町南206番地
TEL076-252-2237（代表）
https://www.seiryo-hs.jp/

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町寅27番地
TEL076-252-5057（代表）
https://kinder.seiryo.jp/seiryo/

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL076-244-5636（代表）
https://kinder.seiryo.jp/izumino/

（星稜サ・エ・ラ）　サ・エ・ラ（ça et là）とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。